

コロナを終えて次へステップ

今年より、コロナウイルスが5類となり外出活動が増えて参りました。来年は、町内の方々との交流を深める為、レクリエーションを考えて行きたいと思っております。だがまだまだ、コロナウイルスが無くなった訳では有りませんので、その事を配慮しながらレクリエーションを実現に向けて進めて行くために、各役員とも相談して行きます。

十八条四町会 橋本 鶴夫

町会の継承

町会の歴史を「つなげる」、このシンプルなことが難しく答えがなかなか出ません。大切なものを手渡され、大切なものを育み、手渡す、それが出来れば理想的な姿と思います。歴代の会長、諸先輩の方々もたくさんのもを手渡され、そして手渡したものを大切にこれから受ける方が手渡すと言う願いです。そうやって渡されてきたものが、現在の町会を創ってきた形、大事にしたいです。

十八条三町会 萬里川 富士夫

地域活動と歴史の継承

西三国一町会の継承したいもの・こと それは、「高須」の地に生きた人々の歴史かな？三国から井有の蒲田神社への参道沿いに張り付いた農家、小住宅あとは農地という小集落が、新大阪駅と東京五輪を契機として激変した。宅地化と人口急増期を経て、今や百姓家が皆無になり、土地区画整理に伴う空き地と高齢者が目立つ地域へと変遷した。住宅が建て替わり、人が入れ替わる時が目前である。町会役員は皆20年選手だ。人口が張り付き、地域の活動と人々の歴史を継承できる日が待ち遠しい。

西三国一町会 岡 孝

防災の意識を地域に継承

ここ十八条に引っ越してから地域活動を始めました。防災委員として年1回の防災訓練、消防訓練等率先して行っています。近年の大雨、河川の氾濫などの異常気象、いつ起きてもおかしくない東南海地震。地震においては今後30年の間に起きる確率が70%~80%という。これは起こるか起こらないかでは無く必ず起きる事です。いつ発生してもおかしく無い時期になっています。その日がいつなのか地震予知ができません。防災をいかに考え行動するか？その時は誰も助けが無いと考え、備えが必要だと思います。特に水、食料は避難所に行っても圧倒的にたりません。無いと考えてもいいです。先ずは自助一人ひとりがどう備えるかまた、地域においては共助。みんなが助け合える地域になれる様、安全への広報活動、自己訓練など続けて行こうと思います。

十八条七町会 阿部 毅



淀川区防災訓練
防災レスキュー隊



「旗を持って行こう」
防災訓練

新しい担い手にバトンタッチ!!

私たちの町会は今区画整理の真只中、空き地、旧家、新しい家が混在し、道路が狭い地域でしたが道も広くなり、開発途上ではありますが新しい街が出来つつあります。昔からの街並みや辻のお地蔵様のお引越しと懐かしい街が消えていく中、旧渡邊邸の跡地に30数軒住宅が建ち若い世代の方が入居され、街が活性されるという嬉しい変化もあります。

先人が育ててくださった良い風習は残し、新しい街で新たな町会運営にバトンタッチ出来る日を今から楽しみにしています。

西三国二町会 大屋 朱美

見守り隊に感謝

現在は、各家族化が進み、近くに祖父母や親戚などがいてなくて、子どもたちが、年配の方と触れ合うことが少なくなってきている中、朝の見守り隊の活動は、地域で、大切な子どもたちを育てているように思います。朝のひとときですが、微笑ましい光景で、とても素晴らしい活動だと思います。担い手不足等の問題点もありますが、これからも、続けていって欲しいです。

子どもたちの元気な「おはよう」が聞けることを期待して…



十八条五町会 福島 陽子

三国中学校 新校舎完成!

やっと新校舎が完成しました。やはり、新しいものは気持ちがよく、始業式の教室の生徒たちの顔も明るような気がしました。ちなみに新しい校舎は東館といえます。一方で新東館である旧校舎の取り壊しが行われています。取り壊されている校舎をみると物悲しい気持ちになります。この校舎で、先輩たちが中学校時代の青春を過ごし、思い出深いものに違いありません。後輩である私たちは、先輩の良き伝統と経験を引き継ぎ、さらに良いものにして、新しい校舎で「継承」していきます。



新校舎・東館

新しい校舎を迎えた三国中学校をこれからも地域の皆様のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

三国中学校 教頭 門田 善雄

危険と隣り合わせ見守り隊

当町会は交通量が多く危険な道路が通っており、その道路が子ども達の通学路になっていることから、子どもを見守り活動にも力を入れてきました。これからもこの活動は町会の大事な活動として続けて行きたいと思えます。

町会の楽しい行事としてバスツアーがあります。コロナ禍の間は中断していましたが本年はこの事業を再開したいと思います。以前のような活気ある町会に皆で力を合わせて頑張りたいと思っています。

新一町会 吉村 良一



三つの合い言葉

当町会では活動方針を ①お年寄りにやさしい町・西五町会 ②子供が安全な町・西五町会 ③明るくきれいな町・西五町会を合い言葉にして活動しています。日常生活で高齢者、特に独り住まいの方で困っている人を見かけた時は、出来るだけやさしく支援の手を差し伸べるよう心掛けています。また、子供の安全、安心を守るために子供見守り活動には積極的に参加し、町会外であっても必要な箇所には出向いて活動しています。気持ちよく日常生活を送るためには、町がきれいであることが非常に大切です。そこで当町会では独自にクリーン活動デーを設定して清掃活動や草取り活動を行っています。これからもこの三本柱をモットーにして明るく住みよいまち作りの為に活動していきたいと役員一同決意しているところです。

西三国五町会 嘉悦 靖人

区画整理の落とし穴

区画整理が進み、新しい方々が引っ越して来ています。町会役員が加齢による人数減少で町会運営に支障を来していますが、コロナウイルス禍の所為も有って班長会を開けない為新しくお住まいの方々との意思疎通の機会が無く、町会運営の引き継ぎ問題の話が出来ていません。この問題を解決しないと、この先町会運営に支障を来します。何とか解決して今まで通り隣近所仲良く暮らし、誰が住んでいるのかも分からない町会にたく無いのです。

西三国十町会 森 裕邦

対話による共助

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、行事活動も見送られていましたが5類移行により再会されましたが終息にはいたっていません。また近年、地震や台風、豪風など様々な自然災害が発生しています。災害が発生した場合、自分の命は自分で守る(自助)住民同士での助け合い(共助)ではないでしょうか。

その為には平日頃からの対話が重要であり、私達町会には、独り暮らしの方が65名おられます。そのうち70歳以上の方が42名います。安否確認も大切だと思います。

十八条六町会 伊原 弘雄



青少年を見守り幾年

青少年福祉委員は、地域における青少年指導員の活動を側面的に支え、青少年健全育成のために活動をされている団体との連携を深め青少年を取り巻く諸問題を啓発し、社会環境の浄化活動を推進しております。地域での二十歳の集いを始め、区で開催の二十歳の集いにも携わって参りました。引き続き、地域の方々や各団体と協力し、青少年を見守り健全に育む活動に取り組んで参りたいと思います。

青少年福祉委員 秋山 里美

義理や人情が地域を明るく

保護司会として『継承』して行きたいこと、それは毎年社会を明るくする運動を行っていますが、犯罪や非行を防ぐには、やはり地域の愛情や義理・人情が大切だと考えます。挨拶はもちろん、礼儀も有り難うと素直にいえる人で有りたい。有り難うとみんなに言われる人でありたいと思う心があれば、明るい地域社会になると信じ「継承」していければ良いと考える次第です。

保護司会 川西 太

「民生委員児童委員」の活動

民生委員児童委員とは、色々な心配ごと、悩み事の内容に応じて、適切な関係機関の支援に繋ぐ「つなぎ役」になります。主任児童委員は、子供や子育てに関することを専門的に活動しています。

民生委員長 鈴木 帝子



「継承」・・・つぎ 次代を歩む人たちに何を残

見守り活動をして

4年ほど前から朝の登校時間に合わせて見守り活動をさせていただくようになりました。横断歩道で止まっている車を追い越して行こうとする車があったり、横断歩道のすぐ横に駐車するドライバーがいたり、制止を聞かず飛び出す子がいたりヒヤッとすることがありますが、挨拶を返してくれる子や話しかけてくれる子も増えました。

なかには「引っ越しをするので、朝、もうこの道は通りません。今までありがとうございました」とお礼を言ってくれる子もありました。子供たちには、ルールを守ることの大切さや、大勢の大人たちがみんなを見守っているよと言うことを伝えたいです。

十八条二町会 植田 和広



運動の継承

更生保護女性会は、保護司会と協働して、犯罪を犯してしまった人や非行少年が健全な社会人として立ち直られるよう、支援や見守りをして



朝の見守り隊

います。平成6年からは、地域に何かお役に立つことをと「愛の一声運動」をし始め、小学校前で朝の挨拶を30年間続けてきました。さらに、「子供見守り隊」が再編されたのを機として会員全員が登録し、町会内の通学路にも立って児童の朝の見守りを続けています。会員の高齢化と減少という問題を抱えながらも、私たちに「今出来ること」を「続ける」「長く」という気持ちを持ち続けて活動を継承していきます。

更生保護女性会 岡 憲子

健康的で明るい町作りのために

明るく健康的な地域社会はそこに住んでいる多くの人々が望んでいることだと思います。その健康と明るい笑顔を作り出す為にスポーツの果たす役割は大きな物が有ります。体協の勤めはスポーツの場を提供する事に有ります。本年は今一度原点に立ち戻り今の社会状況に合った活動を展開して行くためにどんなスポーツ、どんな形で進めて行ったら良いのかをしっかりと検討し体育行事の復活を目指して行きたいと思っています。

体育厚生協会 会長 山地 哲雄

継承は愛情と情熱が命！

小学校PTAの継承は、心温まる瞬間と課題が共存する大切な役割です。新しい会長は、その受け継いだ責任を胸に、笑顔で受け入れながら、自分らしい一歩を踏み出すことが求められます。子供たちの成長と学校のコミュニティへの貢献には、愛情と情熱が必要です。一方で、過去の経験や前任者からの知識は、優しく受け継ぎ、大切に守りながら新たな風を吹かせることが求められます。継承者として、他のメンバーとの協力とコミュニケーションが、PTAの結束力を高める大切な要素です。共に困難を乗り越え、子供たちの未来に夢を育むことが、この役割の醍醐味でしょう。

西三国小学校PTA会長 福元 康仁

災害に備える！みんなで守る！

近年ゲリラ豪雨、線状降水帯による土砂災害が多発、また日本は地震大国10年以内に南海トラフ地震が発生するといわれています。地域では年1回、町会と小学校の児童が避難誘導、消火活動、煙体験等700名規模の防災訓練を実施しています。いつ起きるかわからない又いつ起きてもおかしくない災害、「自助、共助、公助」の元、各自防災への意識を高め常に準備することが最も大切なことです。

防災リーダー 大屋 朱美



発足30周年に感謝

夢のある女性学級の充実を計り、地域に親しまれる会費制の女性会として発足30周年を迎える事が出来ました。その時々々の社会状況の風を感じながら、一人ではなし得ない事でも大勢の皆様と一緒なら過程を楽しみながら作りあげていきます。



宝塚での集合写真

地域活動もスムーズに進行し楽しむ心を絶やす事なくつなげて下されば、幸いかと思っております。

西三国女性会会長 徳田 キヨミ